

未来の子みんなの絆で輝く瞳 「令和6年度全国学力・学習状況調査結果の概要等をお知らせします」



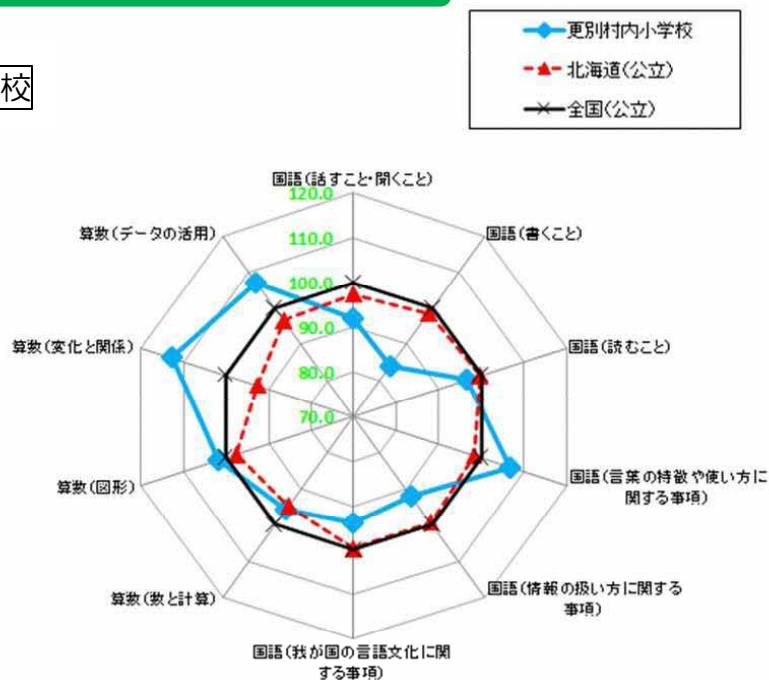
更別村教育委員会 令和6年12月

本年度、4月18日に小学校6年生と中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。このほど結果がまとまりましたので、そのおおまかな内容についてお知らせします。この結果は、今まで学んだことの一部を調査した結果であり、全てではございません。結果をもとに、家庭・学校・地域社会で力を合わせ、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう子供たちの学ぶ喜びを高めていきましょう。

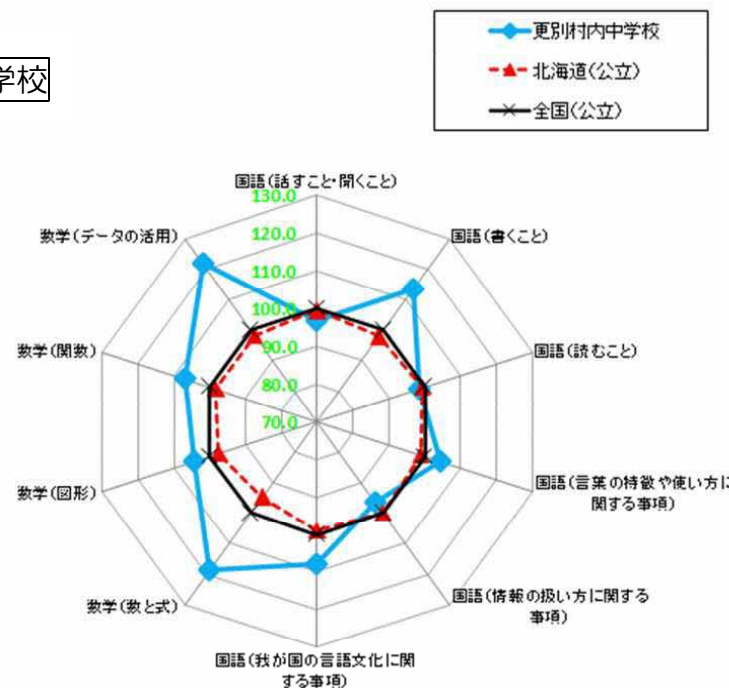
1 全国学力・学習状況調査結果概要

*下の図は全国の状況を100として、北海道と更別村の状況を比較したものです。

小学校



中学校



2 児童生徒質問紙に関する調査結果から見てくること

【村内3校に共通すること】(○は良さ *は努力目標)

- 「自分にはよいところがある」と考える子どもの割合が全国に比べて高い。
- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と感じている子どもの割合が全国に比べて高い。
- 「PC・タブレットなどのICT機器を授業で活用している」と認識している子どもの割合が全国に比べて高い。



- * わからないことやできなかった問題をそのままにしないで、調べたり、聞いたり、解き直しをしたりしましょう。
- * 自分の思っていることや感じていることを自分の言葉で表現する（話す・書く）力を高めていきましょう。
- * 学校の授業時間以外に、家庭での勉強（自分に必要な学習を自分で考えて取り組む等）を習慣化しましょう。
（時間の目安：小学生は「学年×10分+10分」、中学生は「学年×30分+1時間」）

3 更別村コミュニティ・スクール（CS）として特に取り組むこと（CSアクションプランより）

目指す子どもの姿（重点化）

（学び）失敗から学べる子ども

（心）明るくあいさつができる子ども

（体）根気強くがんばる子ども

（郷土愛）いつもどこかに「更別」がある子ども

家庭の取組

（学び）子どものやる気を引き出す声かけやサポートをする。 （心）感謝の言葉を伝える。

（体）子どものチャレンジを家族で見守り、応援する。 （郷土愛）地域の活動や行事に参加する。

学校の取組

（学び）「分かった」「できた」と思える授業づくりをする。 （心）あいさつ運動を推進する。

（体）体育の授業、行事、休み時間などで十分な運動の機会を確保する。 （郷土愛）ふるさと教育の充実を図り、更別への理解を深める。

地域の取組

（学び）学校や地域での子どもの学びを支援する。 （心）大人が積極的にあいさつをする。

（体）少年団・部活動に、いろいろな形で応援や支援をする。 （郷土愛）子どもにとって安全で安心できる地域をつくる。

・教育委員会では、「学力・体力向上等サポート会議」を開催し、村内3校の取組をサポートしています。